

# 新型コロナから県民の命と健康を守り 物価高騰から暮らしと営業を守る緊急対策を

## 達増知事に来年度予算に関する申し入れ



達増知事(左から3人目)に申し入れる(左から)千田県議、斉藤県議、(右から)吉田恭子副委員長、高田県議、菅原則勝県委員長(12月26日)

少子化対策に本格的に取り組み、子どもの医療費助成については、全市

求めました。対策を講じるよう求めました。

11年9ヶ月余が経過した東日本大震災津波からの復興の課題では、被災者の医療費免除が終了したことを踏まえ、経済的な理由で必要な医療が受けられないことがないよう、具体的な

対策を講じるよう求めました。

物価高騰対策では、消費税を緊急に5%に減税するよう国に求める

とともに、地域企業経営支援金を再実施するよう求めました。

12月26日、日本共産党岩手県委員会と県議団は、達増拓也知事にたいし、来年度予算に関する申し入れを行いました。申し入れは、「新型コロナ・物価高騰対策」「東日本大震災津波の復興」「県民の命とくらしを守る新たな県政めざして」の三部構成です。申し入れでは、新型コロナ感染が急拡大する中、高齢者施設内療養中に死亡した例が373人中85人(22.7%)、12月23日現在に及んでおり、高齢者施設でのクラスター対策を抜本的に強化し、施設内療養中に死亡するこ

とがないよう提起しました。

### 2023年度県予算に関する申し入れの主な内容

- ◇高齢者施設のクラスター対策を抜本的に強化すること。
- ◇高齢者施設、学校、教育保育施設等の定期的頻回検査、無料PCR検査・抗原検査を継続実施すること。
- ◇国として持続化給付金の再実施を求めるとともに、県としても地域企業経営支援金の再実施を行うこと。
- ◇消費税を緊急に5%に減税するよう国に求めること。
- ◇被災者が経済的な理由で必要な医療が受けられなくなることがないよう、具体的な支援と対策を講じること。
- ◇少子化対策に本格的に取り組み、子どもの医療費助成は高校生までの現物給付化を早期に実施すること。
- ◇高すぎる国保税は協会けんぽの水準まで引き下げ、子どもの均等割りは免除・軽減すること。

# 被災者の心のケア、生活再建と生業の再生を 県民の命とくらしを守る新たな県政めざして



本会議で一般質問に立つ斉藤県議(12月5日)

12月8日では、斉藤県議が任期中最後の一般質問に立つとともに、高田一郎県議と千田美津子県議が補正予算に対する質疑に立ちました。補正予算は全会一致で可決されました。

新型コロナウイルス発生以降、高齢者施設で療養中の利用者が42人(12月4日現在)も亡くなり、死者数全体の14.7%に達しているの

町村が高校生までの医療費助成を来年度から実施することから、高校生までの現物給付化の早期実施を要望。高すぎる国保税については、協会けんぽの水準まで引き下げ、子どもの均等割りは免除・軽減するよう求めました。

### 12月県議 県民の切実な要求実現へ一般質問に立つ 物価高対策等に94億円の補正予算

気候危機打開に向けた取り組みの推進、ジェンダー平等施策なども提起しました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

達増知事は、「充実した提案をいただいた。必要なものは来年度予算に反映し、補正予算も含めて対応したい」と述べました。

県民と心ひとつに  
日本共産党  
斉藤 信の  
県政報告

2023年1月 No.182

発行：日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241  
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050  
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ

<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

## 住みよい盛岡めざして 日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



庄子春治



高橋和夫



神部伸也



鈴木 努



三田村亜美子

を招き得る。いま東アジアで求められているのはむしろ軍縮である」と答えました。



### 全国で唯一、常任委員会での発言を規制

議会運営委員会において、12月議会での県議会常任委員会の発言規制を見直すよう求めました。発言規制は全国では岩手県議会だけとなっている異常な事態にもかかわらず、自民党・いわて県民クラブ・いわて新政会・希望いわての4会派すべてが発言規制を継続することを主張し改善されませんでした。

議会にとって議員の発言を保障することは最も重要なことです。岩手県議会の異常な発言規制を撤廃させるために引き続き頑張ります。

## 県内における統一協会と自民党の癒着の実態を追及

### 統一協会と県議の関わりを調査を求め、不採択

県内における統一協会と自民党との深刻な癒着の実態を指摘しました。

7月の参議院選挙で当選した広瀬めぐみ氏は「今年5・6月ごろ、支援者に誘われて盛岡市の教会を訪れ、責任者に挨拶をした」との事実は、参院



旧統一協会と県議会議員との関わりについて調査・公表を求める請願を五日市議長に提出（12月1日）

選への支援を要請したということ。参院選は自民党と統一協会一体の選挙だったのではないかと指摘し、達増知事の見解を聞きま

なり違った結果になるのではないかと答えました。6人の自民党議員が統一協会や関連団体の集会等に参加していた事実が明らかにになりましたが（別表、あくまでも自己申告です。統一協会と関わりがあった3人の自民党議員が



医療費助成の現物給付化を高校生まで拡充を求める請願を提出する会の皆さん（12月1日）

一般質問に立ちましたが、統一協会問題には一言も触れず反省のない姿が浮き彫りになりました。「旧統一協会と県議との関わりについての調査・公表を求める請願」は自民党・いわて県民クラブ・いわて新政会・希望いわての4会派と公明党が反対し不採択に。反

### 医療費助成の現物給付を高校生まで拡充へ

12月1日、達増知事は一般質問の答弁で、来年度から高校生までの医療費助成の現物給付化を実施する方針を示しました。

社会的集団である統一協会との関わりを解明し背を向けるものであり、統一協会問題に対する会派議員の姿勢を示す重大な問題です。請願不採択への賛成討論に立ったのは、統一協会の集会に参加していた自民党の米内紘正議員であり、自民党の県議6名とも「実態を認識していなかった」と述べました。

### 岩手県母親大会連絡会の皆さんが県要請

12月14日、岩手県母親大会連絡会は達増知事にたいし、第67回



八重樫副知事に要請する母親大会連絡会の皆さんと出席する斉藤県議（12月14日）

県母親大会の申し合わせ・決議・宣言に基づく要請を行いました。

重点項目として、災害公営住宅での高齢者の孤独化防止とコミュニケーション形成のために、集会所の活動を支える常駐支援員の配置を強化すべきだと要望。また、新型コロナウイルス感染症拡大と物価高騰で苦しむ高齢者施設への支援の強化を要請し、介護報酬の引き上げを国に働きかけてほしいと訴えました。

### 統一協会や関連団体等との関係を認めた自民党県議（敬称略）

議員名	具体的内容
米内紘正	2月に世界平和統一家庭連合の会議にオンライン出席
高橋康介	案内がきて世界平和統一家庭連合の会合に出席
臼沢 勉	6月に教会を訪れ、自身や広瀬めぐみ氏について話した。知人の紹介で県平和大使協議会の集会であいさつ。
川村伸浩	20年頃から21年夏頃まで数回、話を聞きたいと呼ばれ、集会のような場面で県政について話した。
高橋穂至	19年県議選立候補の際、花巻市内の教会であいさつ。平和世界大会のネット配信を見る会に出席
神崎浩之	数年前、知人に声をかけられ、平和と安全に関するフォーラムのような集会に出席

### 12月県議会に県民から提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の賛否（○：賛成 ×：反対）

案件	斉藤 信 (日本共産党)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新政会)	高橋但馬 (新政会)	米内紘正 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	千葉絢子 (県民クラブ)	上原康樹 (無所属)
学校給食無償化と地産産、国産食材の利用促進を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
私学助成を拡充し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険制度の改善を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
安全・安心の医療・介護実現へ人員増と処遇改善を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
旧統一協会と県議会議員との関わりについて調査・公表を求める請願→不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○

### 斉藤信のパワフル活動日誌

- 【11月】
  - 7日 復興特別委員会調査(宮古市)
  - 13日 岩協のついで、山岸地区で街頭宣伝
  - 15日 講演、議案説明会
  - 16日 県政要望を聞く会
  - 20日 日本共産党演説会(山下芳生副委員長)
  - 23日 全県地方議員研修会
  - 24日 講演
  - 25日 講演、12月県議会開会、建設業協会盛岡支部と県議との意見交換会
  - 26日 中野地区のついで、八日町振興会
  - 27日 加賀野地区のついで
  - 29日 新型コロナウイルス調査(川久保病院)
  - 30日 岩手県弁護士政治連盟と県議との意見交換会
- 【12月】
  - 1・2日 県議会本会議
  - 3日 いわて労働女性部定期大会
  - 4日 北上革新懇で講演
  - 5日 本会議で一般質問
  - 6日 文教委員会
  - 11日 高松地区で宣伝行動
  - 13日 文教委員会県内視察(花巻北高校、とんぼ支援学校)
  - 14日 母親大会実行委員会副知事要請と品型局要請
  - 16日 明るい民主県政をつくる会で県政報告
  - 18日 山岸SCユース、上米内SCユース園のついで(県営アパートの皆さんと懇談、岩商連が商工労働観光部長に要請)
  - 23日 県民と県議会の懇談会(産業技術短大の学生と、ごみ処理問題を考える8市町連絡会が環境生活部長に要請)
  - 26日 達増知事に2023年度岩手県予算に関する申し入れ

### 無料法律相談

～弁護士が相談に応じます～  
1月18日(水) 午後6時～  
2月15日(水) 午後6時～  
予約電話番号：651-5881

### 無料生活相談

毎週土曜日 10時～12時  
場所：斉藤信事務所